

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ <a href="https://www.nkkswitches.co.jp/">https://www.nkkswitches.co.jp/</a> において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について  
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

## NKKスイッチズ株式会社

### ■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1  
総務部：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

## 第66期中間報告書

平成30年4月1日 ▶ 平成30年9月30日

**NKKスイッチズ株式会社**

## 市場全体が低調な中でも売上は好調。 社会の変化以上に自らが変化することで、 新たな価値を生み出してまいります。

代表取締役社長

大橋智成



### この半年間の産業用スイッチ業界の状況と、 業績の概況をお聞かせください。

当上半期における世界経済は、米国の保護主義的な通商政策に基づく米中貿易摩擦の激化等により減速リスクが高まるなど、中国国家统计局が発表した当四半期の国内総生産は世界的な金融危機下にあった2009年以來の低い伸びとなり、先行き不透明な状況にあります。そのような中、NECA（一般社団法人日本電気制御機器工業会）の統計データによれば、制御機器市場全体及び産業用スイッチ市場は減少傾向が続き、当社が属する操作用スイッチ市場も前年同期比94.8%と低調でした。

こうした中、当社グループは4カ年の中期経営計画「Change100」のもと、「グローバル化対応」と「勝てる武器の創造」を軸とした基本戦略を推進し、お客様との接点を拡大したソリューションビジネスの拡充を進めるとともにインターネットによる販売強化に努めるなど、積極的な施策を展開してまいりました。売上面では、グローバル特定市場やインターネットビジネス等の各販売強化項目が前年同期比で

2桁成長を遂げ、業績を支えました。開発面では、新商品の上市こそなかったものの特注品の開発が相次ぎました。生産面では、フィリピン・マクタン工場への生産移管は予定を上回るペースで進んでおり、年内に完了する見込みです。また、地域別概況では日本市場が若干マイナスだったものの、他地域は順調に推移しました。とりわけ欧州市場およびアジア新興国市場では単価が高いIS（多機能押ボタンスイッチ）の採用が始まり、大きく業績を伸ばしました。しかし、利益面では中国から米国市場向け製品に対して米国関税が課された影響などもあり、大幅な圧縮を余儀なくされました。

これらの結果、当社グループの2019年3月期上半期における売上高は39億6千2百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は5千9百万円（同45.2%減）、経常利益は8千4百万円（同26.9%減）となりました。

### グループ共通のグローバル特定市場の 販売状況はいかがでしたか。

当社グループのスイッチには約350万種類のバリエーショ

ンがあり、長年にわたって幅広いビジネスを続けております。しかし、それだけでは業績が景気に左右され、安定した経営ができません。そのリスクを減らすため、狭くても良いので深く浸透するグループ共通の特定市場を設けて販売強化に取り組んでおり、当上半期の売上は前年同期比121%と成長いたしました。新規採用も増え始め、着実に定めた市場に入りつつあり、当社グループとしましても今後の成長に期待しております。

### ソリューションビジネスについては いかがだったでしょうか。

当上半期の売上の的には前年同期比で2桁成長したものの、目標比では未達成に終わっており物足りなさを感じています。当社グループは2017年度より「モノ売り」から「コト売り」（ソリューションビジネス）への転換を強化しており、2018年度からはコト売りビジネスを専門に担当するソリューションビジネス部門を立ち上げました。その関係もありソリューションに関する新規引合件数は過去と比較すると大きく伸びているものの、思っていたように受注には至っていないというのが現状です。今後はソリューション営業力やソリューション提案力強化に加え、お客様への選択肢を増やすなど、NKKソリューションの魅力をもっと高めていかなくてはならないと考えております。

### フィリピン・マクタン工場への 生産移管の完了時期は予定通りでしょうか。

予定よりも早まり、2018年中に生産移管が完了する目処が立ちました。今年国内では巨大台風の上陸が相次ぎました

が、フィリピンも例外ではありません。しかしフィリピン南部に位置するマクタン島は、その通り道から離れており、その地を選んで建設したことで、被害は全くありませんでした。コスト削減もこれまでは日本の生産ラインを持っていくことで、大幅な人件費の抑制を実現していましたが、工場設備の減価償却に加えて、輸送コストがかかることもあり、今後は部品組立関係もフィリピンで行うなど、今までにない生産性を向上させる作り方を試み、さらなるコスト削減に取り組んでまいりたいと考えております。

### 最後に、株主様への メッセージをお願いします。

現在、当社グループを取り巻く外部環境が予断を許さず、下期の事業環境はきわめて先行き不透明な状況にあります。しかし、現下の貿易摩擦も変化であることには変わりがなく、我々自らが率先して変化していかなければ世の中から排除されてしまいます。現在そのための策を急いでいるところです。

当社グループは「世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチサプライヤーになる」という思いのもと、中期経営計画「Change100」を掲げて社会の変化以上に変わることこにこだわり、技術力とマーケットを調和・融合させることで新たな価値を生み出し、新市場および新規顧客の獲得、そして新ビジネスモデルの構築を目指しております。

株主の皆様には何卒ご理解をいただき、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

お客様に感動し続けていただける企業として

NKKは創立65周年、NKKスイッチズとして5年目を迎えました。

当社グループは経営理念「Great Small Company」を掲げ、お客様に支えられて成長してまいりました。

私たちは、真の「Great Small Company」となるため一つの解が「お客様に感動し続けていただける企業」であると考えます。

「自分の仕事は、お客様に感動を与えることができるのか？」を常に考えることができる集団になることにより、私たちはさらに差別化された特長ある企業としてこれからも成長してまいります。



NKKのソリューション

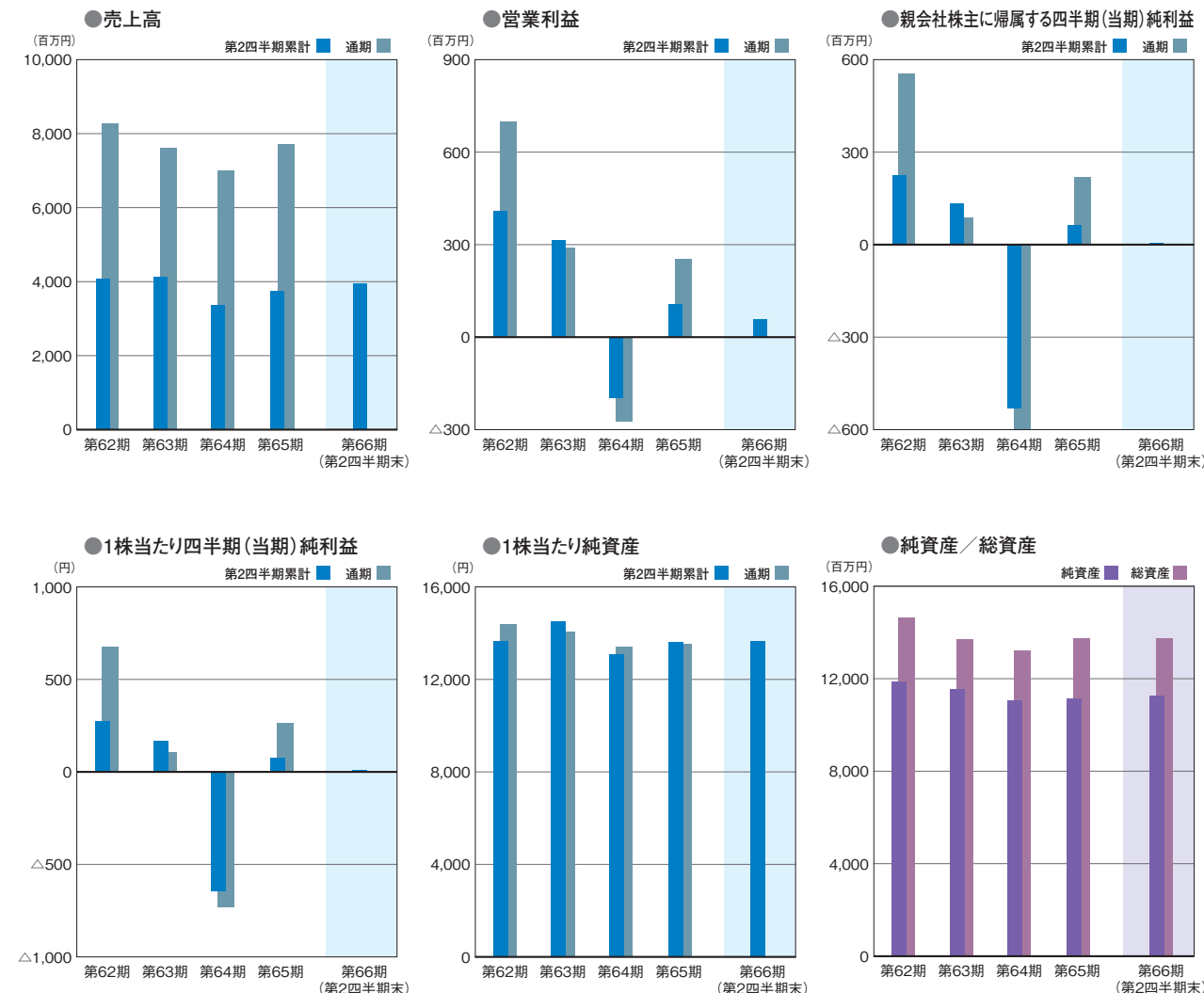
お客様の多種多様なご要望に応えるためにNKKスイッチズは、高い技術力と充実したサービスメニューでお客様をサポートいたします。

本年春に発足したソリューション事業部は、当社製品を軸に、タッチパネルであれば、液晶表示装置・マイコンボード・FPGAの開発、ISであれば装置システム回路の設計段階からサポート。新設のFAE（フィールドアプリケーションエンジニア）部門が、お客様のお悩みに設計段階から関与することで、スイッチ専門メーカーならではの強みを活かしてお客様のご要望にお応えします。

NKKは今後もお客様から信頼されるブランドとして「お客様の困りごと」に寄り添い、付加価値を高めることに注力してまいります。



NKKは今後も、世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチサプライヤーを目指し、邁進してまいります。



当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。第62期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期（当期）純利益および1株当たり純資産額を算定しております。

## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結会計期末 (平成30年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	9,618,479	9,813,773
固定資産	4,099,426	3,917,211
有形固定資産	2,234,470	2,217,318
無形固定資産	136,972	160,521
投資その他の資産	1,727,983	1,539,371
資産合計	13,717,905	13,730,985
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,962,555	2,123,269
固定負債	503,383	464,409
負債合計	2,465,938	2,587,678
<b>純資産の部</b>		
株主資本	10,668,838	10,705,196
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,045,410	9,081,493
自己株式	△ 161,676	△ 161,400
その他の包括利益累計額	582,840	437,908
その他有価証券評価差額金	578,892	589,175
為替換算調整勘定	3,947	△ 151,266
非支配株主持分	288	200
純資産合計	11,251,966	11,143,306
負債純資産合計	13,717,905	13,730,985

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
売上高	3,962,517	3,751,499
売上原価	2,440,274	2,234,896
売上総利益	1,522,242	1,516,603
販売費及び一般管理費	1,462,770	1,408,017
営業利益	59,471	108,585
営業外収益	41,024	31,014
営業外費用	16,263	24,293
経常利益	84,232	115,305
特別損失	1,251	1,416
税金等調整前四半期純利益	82,981	113,889
法人税、住民税及び事業税	63,886	43,805
法人税等調整額	13,938	6,718
四半期純利益	5,155	63,365
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	60
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,068	63,305

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,799	362,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 366,198	△ 202,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 41,208	△ 33,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	54,221	△ 4,175
現金及び現金同等物の増減額	△ 297,387	122,504
現金及び現金同等物の期首残高	5,712,203	5,582,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,414,816	5,705,242

## ■ 会社概要

商号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創業	昭和26年4月1日
設立	昭和28年12月11日
資本金	951,799千円
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	NKKスイッチズ バイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷(上海)开关有限公司 NKK Switches Mactan, Inc.
ホームページ	<a href="https://www.nkkswitches.co.jp/">https://www.nkkswitches.co.jp/</a>
上場取引所	東京証券取引所 (JASDAQ)

## ■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智成
取締役	大橋 宏成
取締役	塚 正 勉
取締役	青 木 明 裕
取締役	飯 塚 勇
取締役	芦 澤 直 太 郎 (社外)
常勤監査役	中 村 正
監査役	吉 原 重 樹 (社外)
監査役	大 畠 勝 彰 (社外)

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	2,600,000株
発行済株式の総数	842,520株
株主数	481名

## ■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッジ	132	16.03
株式会社三井住友銀行	40	4.97
株式会社三菱UFJ銀行	34	4.23
大橋 宏成	29	3.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	29	3.52
大橋 尚子	28	3.41
太陽生命保険株式会社	22	2.74
大橋 千津子	20	2.44
大橋 智成	19	2.34
富岡 友子	18	2.27

(注) 1. 当社は、自己株式を19千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ■ 所有者別持株比率

